

大会名	第28回関東高等学校バスケットボール新人大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.2.10	会 場	清原体育館	試合No.	日 体 柏	24	24	18	16	22	104
主 審	佐田 幸一	副 審	桑原 一貴	B 1	宇 工	18	17	20	27	10	92

### 日本体育大学柏高等学校(千葉)

コーチ 野澤 亨      A・コーチ 福士勝哉      マネジャー 大塚瑞穂

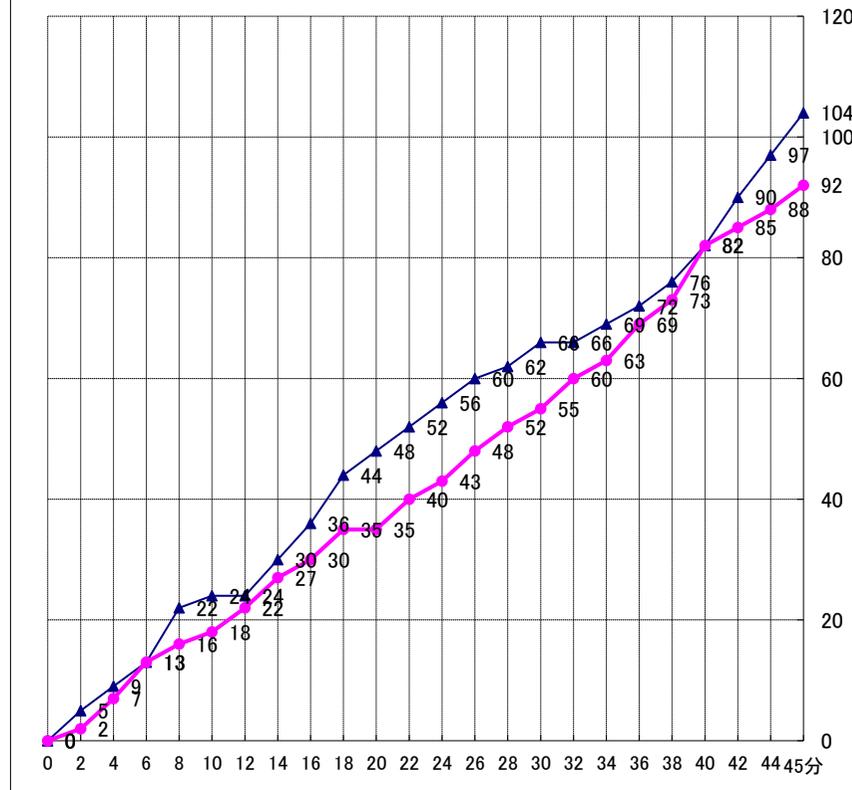
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
澤田 樹	4	12	3	7	1	6	1	2	3	1	2	3
飯塚 環	5	4	0	0	1	6	2	2	1	3	1	4
松岡龍平	6	15	2	3	3	11	3	4	2	0	2	2
小市涼太	7	17	1	5	7	8	0	0	2	1	3	4
高橋輝記	8											
高橋唯人	9											
ケイタ シェイク ボーバカー	10	29	0	0	13	20	3	8	4	12	15	27
広橋悠磨	11	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	3
西島来哉	12	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1
飯泉陸斗	13											
中新井田 稔	14											
ダオウダ ジャキテ	15	21	0	0	9	13	3	4	3	2	7	9
渡辺優介	16	2	0	2	1	1	0	0	0	0	3	3
伊藤倭麻	17	4	0	3	1	4	2	2	1	1	0	1
中村小太郎	18											
チ ャ ム										0	11	11
合 計		104	6	20	36	72	14	22	18	23	45	68
		成功率	30.0%		50.0%		63.6%					

### 栃木県立宇都宮工業高等学校(栃木)

コーチ 千村 隆      A・コーチ 高崎 徹      マネジャー 山岸 祐貴

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
宇梶 温哉	4	3	0	2	1	2	1	2	2	4	4	8
相馬 俊介	5	23	2	7	8	15	1	4	4	5	9	14
小島 優生	6	26	5	19	5	10	1	2	1	1	0	1
春山 歩夢	7	32	9	23	0	6	5	7	4	3	3	6
伊藤 学	8	6	0	0	3	6	0	0	5	2	3	5
山口 湧史	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
鈴木 雄太	10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
吉原 怜勇	11	0	0	1	0	3	0	0	1	0	3	3
佐藤 教平	12											
安納 椋杜	13	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0
西村 駿佑	14											
佐藤 弘真	15											
千葉 僚大	16											
津川 駿平	17											
国井 唯	18											
チ ャ ム										0	0	0
合 計		92	16	52	18	47	8	15	17	15	22	37
		成功率	30.8%		38.3%		53.3%					

### 得点経過



### 戦評

1回戦、日体大柏対宇都宮工業。地元の宇工が強豪柏をどう迎え撃つか。互いにマンツーマンでゲームに入る。宇工は外のシュートを中心に攻撃。柏は2プラトンでインサイドの⑩ケイタ、⑯ダオウダを基点に攻める展開。24-18柏リードで1ピリ終了。2ピリ序盤、宇工が粘り強いディフェンスから⑦春山、⑥小島の3P攻勢で逆転する。しかし、柏もリバウンドシュートで再びリードを奪う。宇工はゾーンディフェンスに切り替えるが、柏のインサイドを止められず、48-35の柏リードで前半終了。後半、互いにマンツーマン。序盤、柏の⑯ダオウダのリバウンドシュート、ブロックショットでリズムを掴む。中盤、宇工のチームオフェンスが機能し、点差を詰める。しかし、柏はファストブレイクで持ち直し、66-55の柏リードで3ピリ終了。4ピリ序盤、宇工はゾーンプレスで勢いに乗り、3点差まで詰める。その後、一桁台の点差での攻防が続く、お互いに気迫のこもったプレーを見せる。残り1分半、宇工⑤相馬のバスケットカウントで逆転。77-76で宇工リード。その後、再び柏が逆転。残り、15秒、宇工⑤相馬のゴール下で82-82の同点に追いつき、試合は延長戦へ。延長戦序盤、柏の連続3Pなどで8連続得点のラン。その後も柏⑥松岡の落ち着いたプレーで柏がリードを保ち、104-92で日体柏が勝利。両チームとも強みを存分に発揮し、開幕戦にふさわしい好ゲームとなった。両チームの健闘を讃えたい。

記入者 杉森 豪